

(1) 通級担当になることが分かったら

さあ、新年度に向けて、必要な準備をしましょう。

初めて通級担当になるのですから、何から始めたらいいのか、分からないのは当たり前です。通級担当になることが分かったら、次のような準備から始めてはいかがでしょうか。

① 通級指導とはどのようなものか、理解を深めましょう。

通級指導の基本的な考え方や指導内容について、具体的なイメージをつかみましょう。

第1章でも紹介しましたが、通級指導では、子供の自立を目指し、障害による困難を改善・克服するため、一人一人の状況に応じた指導を行います。

理解を深めるために、以下の資料が参考になります。

参照

- ▶「障害に応じた通級による指導の手引 解説とQ&A (改訂第3版)」(文部科学省)(Q1、6、13~12)
- ▶特別支援学校学習指導要領解説「自立活動編」(P.50~)

② 子供についての引継ぎを受けましょう。

- ・子供の生活上、学習上の困難さに気付くことは簡単ではないかもしれません。そこで、活用したいのは、これまでに蓄積された情報です。前任の通級担当や在籍学級担任、特別支援教育コーディネーターなど、これまでの取組状況を知っている周囲の教師からの情報収集や個別の教育支援計画・個別の指導計画の引継ぎを受けることが重要になります。
- ・引き継いだ事柄は、これから先、子供の様子を把握し、指導計画を検討していく際の基になる大切な情報となります。

(⇒個別の教育支援計画、個別の指導計画については、本章(3))

前任の通級担当からの引継ぎ

- ・指導目標の設定や指導内容及び指導方法の工夫について、どんなところに配慮したのか確認しましょう。
- ・特に、子供に対してどのような接し方がいいのか、といった効果的な働きかけについてなど、個別の教育支援計画や個別の指導計画に記載されていないような細かな点についても、引継ぎを受けておくと安心ですね。



特別支援教育コーディネーター、在籍学級担任、管理職からの引継ぎ

- ・異動によって新たに担当になった場合などで、前任者との引継ぎができない場合には、特別支援教育コーディネーターや在籍学級担任、管理職から、前年度の情報を得ることが大切になります。